

令和5年1月1日発行

子どもたちの元気な声と笑顔とともに、新しい年が始まりました。今年も、笑顔がたえない保育を心がけていきたいと思えます。どうぞよろしくお願い致します。

お正月は、ご家族で楽しく過ごされたでしょうか。早寝早起きや体を動かして遊ぶなど、少しずつ生活リズムを整えていきましょう。先月は、簡単な身の回りのことを自分で取り組んでみました。登園したら自分のカバンから連絡帳、コップ、ひも付きタオルを出すことを始めたところ、数日行くと意欲を見せる子どもたち。カバンの中をよく見て「あった！」と笑顔で取り出し、自分でコップ、連絡帳を置く場所、ひも付きタオルをつける場所を理解して取り組んでいます。時には支度をするよりも遊びに行きたくなってしまいうこともありますが、そんなときは「一緒にやってみよう」と声をかけています。子どもたちは自分でできる事のうれしさや達成感を感じているようです。今月も自分でやりたい、やってみようと思う気持ちを大切にしながら、自分でできることが増えていくように取り組んでいきます。ますます寒さが厳しくなってきましたが、天気の良い日には積極的に戸外に出て、追いかっこやボール遊びなどをして体を動かしたり、友だちと手をつないで散歩に出かけたいと思えます。

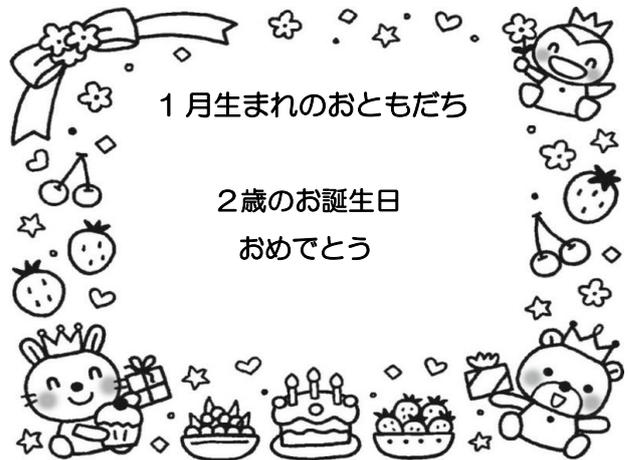


### 〈 今月のねらい 〉

- ・物と言葉、言葉と行動を一致させていく。

### 〈今月の活動〉

- ・散歩(本町公園・徳石通り南広場など)
- ・本園交流・体操・巧技台・製作・お絵かき
- ・粘土・楽器遊び、うたあそび



### ～友だちとのやりとり～

子どもたちが玩具で遊んでいると「いれて」「いいよ」という声が子ども同士の間から聞こえるようになってきました。友だちの持っている玩具を無理矢理とる、という場面が1歳児にはよくあります。そんな時は保育者が仲介し「貸してって言おうね」「今、使ってるから、次に貸してもらおう」「次に貸してね」など、子どもと一緒に言葉にするようにしています。自分の思いを通したい、自分だけが使いたいという気持ちがまだまだ強い中で、気持ちを受けとめ、「かして」「いいよ」「いれて」「まってるね」という言葉を使いながら、一緒に遊ぶ、順番で使う、待ってみる、ということ伝えていきたいと思えます。

